会津美里町 上下水道耐震化計画

会津美里町建設水道課 策定:令和7年1月

1 目標

会津美里町では、災害に強く持続可能な上下水道システムの構築に向け、対策が必要な急所施設について、今後、概ね15年間で耐震化を完了することを目指し、このうち令和7年度から令和11年度の5年間では、耐震対策が必要な避難所等の重要施設に接続する上下水道管路について、今後、概ね20年間で耐震化を完了することを目指す。特に緊急輸送路や町の基幹道路並びに規模の大きい避難所等に接続する耐震性のない上水道石綿セメント管の更新を重点的に実施するものとする。

2 計画期間 令和7年4月~令和12年3月

3 下水道処理区域内における避難所等の重要施設の設定(上下水道共通)

	下小道処理区域内における避無所等の重要地設の設定(エド小道共通)							
	区分		下水道処理区域内における避難所等の重要施設(上下水共通)					
	四月	施設数	施設名称					
対象:	全施設数	36	【防災拠点】 会津美里町役場本庁舎、会津美里町役場本郷庁舎、会津若松警察署会津美里分庁舎 【医療機関】 福島県厚生連高田厚生病院、こばやしファミリークリニック、吉川医院、もこぬま内科消化器科医院 【避難所】 会津美里町役場本庁舎複合文化施設、高田小学校(校舎)、高田小学校(体育館)、高田中学校(校舎)、高田中学校(体育館)、高田体育館、福島県立会津西陵高等学校(校舎)、福島県立会津西陵高等学校(第1 体育館)、福島県立会津西陵高等学校(第2 体育館)、会津美里町役場本郷庁舎本郷生涯学習センター、本郷学園(前期課程校舎)、本郷学園(前期課程体育館)、本郷学園(後期課程校舎)、本郷学園(後期課程校舎)、本郷学園(後期課程校舎)、本郷学園(後期課程校舎)、本郷学園(後期課程校舎)、本郷学園(後期課程校舎)、本郷学園(後期課程を育館) 【福祉施設】 介護老人福祉施設宮川荘、千桜会在宅総合ケアセンター(地域密着型小規模多機能型居宅介護チェリーホーム)、デイサービスセンクーアルクCLASS、ハツピーロード美里デイサービスセンクー、デイサービスセンクー楽楽みさと、認知症対応型共同生活介護事業所ゆいの家、認定こども園ひかり、共働作業所ピーターパン、放課後等デイサービス児童発達支援みらい、介護老人福祉施設ハーモニーハウス、ケアハウスハーモニーほんごう、会津本郷デイサービスセンター、本郷こども園、ティンカーペルの森、グループホーム・小規模多機能型居宅介護ハーモニーみさと					

上下水道管路等の 耐震性能確保済み の施設数 (令和5年度末時点)	9	会津美里町役場本郷庁舎本郷生涯学習センター,本郷学園(前期課程校舎),本郷学園(前期課程体育館),本郷学園(後期課程校舎),本郷学園(後期課程体育館),ケアハウスハーモニーほんごう,会津本郷デイサービスセンター,本郷こども園,小規模多機能型居宅介護ハーモニーみさと
上下水道管路等の 耐震性能確保の 目標施設数 (令和 11 年度末迄)	12	会津美里町役場本庁舎複合文化施設,高田中学校(校舎),高田中学校(体育館),認定こども園ひかり、会津美里町役場本郷庁舎本郷生涯学習センター,本郷学園(前期課程校舎),本郷学園(後期課程校舎),本郷学園(後期課程体育館),ケアハウスハーモニーほんごう、会津本郷デイサービスセンター,本郷こども園,小規模多機能型居宅介護ハーモニーみさと

4 下水道処理区域外における避難所等の重要施設の設定

EF 八		下水道処理区域外における避難所等の重要施設
区分	施設数	施設名称
対象全施設数	32	会津美里町役場新鶴庁舎,会津美里消防署,ふれあいセンター「あやめ荘」,宮川生涯学習センター,宮川生涯学習センター旭体育場,宮川小学校(校舎),宮川小学校(体育館),旧藤川小学校(体育館),高田生涯学習センター赤沢体育場,宮川生涯学習センター尾岐体育場,本郷第二体育館,新鶴小学校(校舎),新鶴小学校(体育館),新鶴中学校(校舎),新鶴小学校(体育館),新鶴生涯学習センター,新鶴体育館,新鶴高齢者福祉センター,介護老人福祉施設リアンヴェール美里,介護老人保健施設グリーンケアハイツ,デイサービスセンクーえんじゆ,グループホームかりん,グループホームあけぼの,グループホーム第2あけぼの,認定こども園きぼう,共同作業所希来里,リハビリセンター藤川,地域密着型介護老人福祉施設にいつるホーム,新鶴デイサービスセンクーちとせ,JA会津よつばデイサービスさくら,ゆきわり荘,新鶴こども園
水道管路の 耐震性能確保済み ¹ の施設数 (令和5年度末時点)	8	ふれあいセンター「あやめ荘」、宮川生涯学習センター、宮川小学校(校舎)、宮川小学校(体育館)、グループホームあけぼの、グループホーム第2あけぼの、認定こども園きぼう、リハビリセンター藤川
水道管路の 耐震性能確保の 目標施設数 (令和 11 年度末迄)	8	ふれあいセンター「あやめ荘」,宮川生涯学習センター,宮川小学校(校舎),宮 川小学校(体育館),グループホームあけぼの,グループホーム第2あけぼの,認 定こども園きぼう,リハビリセンター藤川

-

¹ 重要施設に接続する水道管路(配水本管・配水支管、配水池~避難所等の重要施設)の耐震機能を確保することをいう。

≪会津美里町上下水道耐震化重点計画のうち水道事業等に関する計画≫

5 水道システムの急所施設の耐震化(上水道事業及び水道用水供給事業)

(1)取水施設

	箇所数(箇所)	施設能力(m³/日)	耐震化率(%)2
対象全取水施設	6	3,907	
耐震対策実施済み(令和5年度末時点)	4	3,177	81.31
耐震化目標(令和 11 年度末迄)	4	3,177	81.31

(2) 導水施設(導水管)

	管路延長(m)				耐震化指標	
	耐震管 延長	耐震適合管 延長 (耐震管除く)	耐震適合管以外	計	耐震管率	耐震適合率
対象全導水管(令和5年度末時点)	153	0	5,984	6,137	2.5	2.5
耐震化目標(令和 11 年度末迄)	153	0	5,984	6,137	2.5	2.5

(3)浄水施設

	箇所数(箇所)	施設能力(m³/日)	耐震化率(%)3
対象全浄水施設	3	3,907	
耐震対策実施済み(令和5年度末時点)	2	757	19.37
耐震化目標(令和 11 年度末迄)	2	757	19.37

(4)送水施設(送水管)

	管路延長(m)				耐震化指標	
	耐震管 延長	耐震適合管 延長 (耐震管除く)	耐震適合管以外	計	耐震管率	耐震適合率
対象全送水管(令和5年度末時点)	17	0	1,884	1,901	0.8	0.8
耐震化目標(令和 11 年度末迄)	17	0	1,884	1,901	0.8	0.8

(5)配水施設(配水池(配水塔含む)及び浄水池)

	箇所数(箇所)	有効容量(m³)	耐震化率(%)4
対象全配水池	15	5,631	
耐震対策実施済み(令和5年度末時点)	12	4,707	83.59
耐震化目標(令和 11 年度末迄)	12	4,707	83.59

² 取水施設の耐震化率=耐震対策の施された取水施設能力÷対象全取水施設能力

³ 浄水施設の耐震化率=耐震対策の施された浄水施設能力÷対象全浄水施設能力

⁴ 配水池の耐震化率=耐震対策の施された配水池有効容量÷対象全配水池有効容量

(6)ポンプ所(取水、導水、送水及び配水ポンプ所)

	箇所数(箇所)	施設能力(m³/日)	耐震化率(%)5
対象全ポンプ所	8	-	
耐震対策実施済み(令和5年度末時点)	8	-	100
耐震化目標(令和 11 年度末迄)	8	_	100

6 避難所等の重要施設⁶に接続する水道管路の耐震化(上水道事業) 配水池〜避難所等の重要施設までの水道管路(配水本管+配水支管)

(1)下水道処理区域内における避難所等の重要施設

		管路延長(km)				耐震化指標	
		耐震管 延長	耐震適合管 延長 (耐震管除く)	耐震適合管 以外	ā†	耐震管率	耐震適合率
	推所等の重要な施設に接続す 己水管(令和5年度末時点)	2,819	0	11,352	14,171	19.9	19.9
	配水本管	0	0	1,457	1,457	0	0
	配水支管	2,819	0	9,895	12,714	22.2	22.2
耐富	優化目標(令和 11 年度末迄)	5,208	0	8,963	14,171	36.7	36.7

(2)下水道処理区域外における避難所等の重要施設

		管路延長(km)				耐震化指標	
		耐震管 延長	耐震適合管 延長 (耐震管除く)	耐震適合管 以外	計	耐震管率	耐震適合率
	推所等の重要な施設に接続す 己水管(令和5年度末時点)	1,891	0	34,029	35,920	5.2	5.2
	配水本管	0	0	2,810	2,810	0	0
	配水支管	1,891	0	31,219	33,110	5.7	5.7
耐湿	優化目標(令和 11 年度末迄)	3,651	0	32,269	35,920	10.1	10.1

⁵ ポンプ所の耐震化率=耐震対策の施されたポンプ所能力÷対象全ポンプ所能力

⁶ 下水道処理区域外における避難所等の重要施設も含む

7 水道システムの急所施設の耐震化(簡易水道事業)

(1)取水施設

	箇所数(箇所)	施設能力(m³/日)	<u>耐震化率(%)</u> ⁷
対象全取水施設			
耐震対策実施済み(令和5年度末時点)			
耐震化目標(令和 11 年度末迄)			

(2)導水施設(導水管)

	管路延長(m)				耐震化指標	
	耐震管 延長	耐震適合管 延長 (耐震管除く)	耐震適合管以外	計	耐震管率	耐震適合率
対象全導水管(令和5年度末時点)						
耐震化目標(令和 11 年度末迄)						

(3)浄水施設

	箇所数(箇所)	施設能力(m³/日)	<u>耐震化率(%)</u> 8
対象全浄水施設			
耐震対策実施済み(令和5年度末時点)			
耐震化目標(令和 11 年度末迄)			

(4)送水施設(送水管)

	管路延長(m)				耐震化指標	
	耐震管 延長	耐震適合管 延長 (耐震管除く)	耐震適合管以外	計	耐震管率	耐震適合率
対象全送水管(令和5年度末時点)						
耐震化目標(令和 11 年度末迄)						

(5)配水施設(配水池(配水塔含む)及び浄水池)

	箇所数(箇所)	有効容量(m³)	耐震化率(%) 9
対象全配水池			
耐震対策実施済み(令和5年度末時点)			
耐震化目標(令和 11 年度末迄)			

⁷ 取水施設の耐震化率=耐震対策の施された取水施設能力・対象全取水施設能力

⁸ 浄水施設の耐震化率=耐震対策の施された浄水施設能力・対象全浄水施設能力

⁹ 配水池の耐震化率=耐震対策の施された配水池有効容量:対象全配水池有効容量

(6)ポンプ所(取水、導水、送水及び配水ポンプ所)

	箇所数(箇所)	施設能力(m³/日)	<u>耐震化率(%)¹⁰</u>
対象全ポンプ所			
耐震対策実施済み(令和5年度末時点)			
耐震化目標(令和 11 年度末迄)			

8 避難所等の重要施設¹¹に接続する水道管路の耐震化(簡易水道事業) 配水池〜避難所等の重要施設までの水道管路(配水本管+配水支管)

(1)下水道処理区域内における避難所等の重要施設

		管路延長(km)				耐震化指標	
	耐震管延長	耐震適合管 延長 (耐震管除く)	耐震適合管 以外	計	耐震管率 (%)	耐震適合率	
避難所等の重要な施設に接続す							
る配水管(令和5年度末時点)							
配水本管							
配水支管							
耐震化目標(令和 11 年度末迄)							

(2)下水道処理区域外における避難所等の重要施設

		管路延長(km)				耐震化指標	
	耐震管延長	耐震適合管 延長 (耐震管除く)	耐震適合管以外	1	·耐震管率 (%)	耐震適合率	
避難所等の重要な施設に接続す							
る配水管(令和5年度末時点)							
配水本管							
配水支管							
耐震化目標(令和 11 年度末迄)							

¹⁰ ポンプ所の耐震化率=耐震対策の施されたポンプ所能力÷対象全ポンプ所能力

¹¹ 下水道処理区域外における避難所等の重要施設も含む

≪会津美里町上下水道耐震化重点計画のうち 下水道事業に関する計画 ≫

9 下水道システムの急所施設12の耐震化

(1)下水処理場(揚水、沈殿、消毒機能に係る施設に限る)

	揚水	施設	沈殿	施設	消毒	施設	揚水、沈殿に係る全で	、消毒機能 ての施設 ¹³
	上記施設 を有する 処理場の 箇所数 (箇所)	耐震化率 (%)	上記施設 を有する 処理場の 箇所数 (箇所)	耐震化率 (%)	上記施設 を有する 処理場の 箇所数 (箇所)	耐震化率	処理場の 箇所数 (箇所)	耐震化率 (%)
対象全箇所数	2		2		2		2	
耐震性能確保済みの	2	100	2	100	2	100	2	100
箇所数								
(令和5年度末時点)								
耐震性能確保の目標	2	100	2	100	2	100	2	100
箇所数								
(令和 11 年度末迄)								

(2)下水処理場~下水処理場直前の最終合流地点までの下水道管路14

	管路延長(km)	耐震化率(%)
対象全延長	0.5	
耐震性能確保済みの延長(令和5年度末時点)	0.5	100
耐震性能確保の目標延長(令和 11 年度末迄)	0.5	100

(3)下水処理場~下水処理場直前の最終合流地点までのポンプ場15

	ポンプ場の箇所数(箇所)	耐震化率(%)
対象全箇所数	-	
耐震性能確保済みの箇所数(令和5年度末時点)	-	-
耐震性能確保の目標箇所数(令和 11 年度末迄)	-	_

¹² 下水処理場並びに下水処理場~下水処理場直前の最終合流地点までの下水道管路及びポンプ場をいう。なお、流域下水道の下水道管路及びポンプ場については、最終合流地点以前も含めて急所施設とする。

¹³ 当該列において、「対象全箇所数」には、揚水、沈殿、消毒施設のいずれかを有する対象の処理場の箇所数を記入する。「耐震性能確保済みの箇所数(令和5年度末時点)」及び「耐震性能確保の目標箇所数(令和●年度末迄)」には、このうち、揚水、沈殿、消毒施設の全てで耐震性能を確保した処理場の箇所数等を記入する。その際、揚水、沈殿、消毒施設のいずれかを持たない処理場について、存在しない施設は耐震性能確保済みとカウントする。(例:揚水施設を持たない処理場について、沈殿、消毒施設が耐震性能確保済みであれば、カウントする。)

¹⁴ 流域下水道の下水道管路については、最終合流地点以前も含めて急所施設とする。

¹⁵ 流域下水道のポンプ場については、最終合流地点以前も含めて急所施設とする。

10 避難所等の重要施設に接続する下水道管路等の耐震化

(1)避難所等の重要施設~下水処理場直前の最終合流地点までの下水道管路

	管路延長(km)	耐震化率(%)
対象全延長	11	
耐震性能確保済みの延長(令和5年度末時点)	11	100
耐震性能確保の目標延長(令和 11 年度末迄)	11	100

(2) 避難所等の重要施設~下水処理場直前の最終合流地点までの下水道管路の途中にあるポンプ場16の箇所数

	ポンプ場の箇所数(箇所)	耐震化率(%)
対象全箇所数	-	
耐震性能確保済みの箇所数(令和5年度末時点)	-	-
耐震性能確保の目標箇所数(令和 11 年度末迄)	-	-

※ 必要に応じて概要図等の参考資料を添付

以上

¹⁶ 最終合流地点にあるポンプ場は含まない。